

平成17年12月 検定試験

【No.09】 O₂センサに関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) O₂センサは排気ガス中の残存酸素濃度を検出し、空燃比が理論空燃比に対して小さい（濃い）か、大きい（薄い）かの信号をECUに入力する働きをしている。
- (2) O₂センサの起電力は、排気ガス中の酸素濃度が濃い場合は小さく、薄い場合は大きくなる。
- (3) エンジンの高回転時には、燃料の増量補正が働いて空燃比が小さくなり、O₂センサの電位が低くなる。
- (4) ヒータ付き O₂センサでヒータが断線すると、低温時には、センサ温度が上昇せず、活性化が進まないため、O₂センサ信号出力がほとんど変化しなくなる。